

### 活動事例3 吉敷畑地区

## ほ場整備を契機としてたちあがる 棚田保全活動 吉敷畑地区 (山口市吉敷)



やまぐちの棚田20選MAP：⑩吉敷畑地区

### 地域の概要と特徴

- 本地域は、山口市中心部から美祢市（旧美東町）へ至る国道沿いにあり、西鳳凰山の山麓傾斜地に沿ってほ場整備された棚田が築かれています。
- 室町時代末期には集落が形成されていたと伝えられ、ほ場整備されるまでは700枚以上の棚田がありました。集落の高低差は200m近くもあり、急傾斜地に現在でもおよそ150枚ある棚田で営農活動が行われています。
- 最近では、学校給食の食材の提供や地元中学生の職業体験の受け入れを行い、地域の励みになっています。
- 「吉敷畑営農生産組合」や「吉敷畑みどりを守る会」が、棚田の畦畔や法面の定期的な点検を行い、修繕に努めています。また、自治会と連携しながら、休耕地や花壇へ花の植栽を計画しています。

### 活動のポイント

ほ場整備後の営農と集落の将来をみんなで考えることが保全活動につながる

- 担い手減少の中で、どうすれば整備された農地を効率よく活用した農業を継続できるかを考えてみましょう。
- 営農組合の法人化を図ることも効果的です。考えてみましょう。
- 地域に自治会を含めて地域づくりを目指す団体等がある場合は、協働で活動を行うことも大切です。
- 非農家にも畦畔の草刈りを協力してもらいましょう。
- 農家、非農家と一緒に活動することにより、地域がまとまり、集落の活性化につながります。
- 中山間地域等直接支払制度や農地・水・環境保全向上対策への取り組みも有効です。

問い合わせ先：山口農林事務所 農村整備部  
TEL 083-922-1993



営農組合で行われる農作業



畦畔法面へ芝苗の植え付け作業



共同で行われている草刈り作業

写真：吉敷畑みどりを守る会提供